

「津島市民病院新改革プラン【改訂版】(平成 30 年6月策定)」の『第3章 4つの視点』・『第4章 新改革プランの推進』の記載内容に沿って、平成 29・30 年度の「活動実績」について、28 年度との比較などにより、「考察」・「評価」を行い、「要改善事項」を設定。

プラン記載内容		評価	要改善事項			
第3章	地域医療構想を踏まえた役割の明確化	地域医療構想を踏まえた津島市民病院の果たすべき役割	急性期医療への対応			
			1 DPC/PDPS	A	<input type="checkbox"/> 各診療科と他職種とがディスカッションできる場の設定。	
			2 救急	B	<input type="checkbox"/> 「受け入れ数増」に主眼を置く。 <input type="checkbox"/> 救急隊との「より良好な関係の構築」。	
			3 紹介	B	<input type="checkbox"/> 新改革プラン記述の見直し。	
			4 手術	B	<input type="checkbox"/> 「新改革プラン実行計画」における指標の見直し。	
			患者の状態に応じた医療の提供	5 病床運用	A	<input type="checkbox"/> 入院説明時における転棟可能性の周知徹底。
			6 急性期病棟	A	<input type="checkbox"/> HCU病床の活用状況を把握した上での適切な利用の推進。	
			7 回復期リハビリ病棟	B	<input type="checkbox"/> リハビリ専門医の確保。	
			8 地域包括ケア病棟	B	<input type="checkbox"/> 退院予定患者の取りこぼし防止。 <input type="checkbox"/> クリティカルパスの活用。	
			9 緩和ケア病棟	C	<input type="checkbox"/> 方針の転換。 <input type="checkbox"/> 化学療法中患者の休薬期間のレスパイト入院の検討。	
	10 認知症	B	<input type="checkbox"/> 院内デイサービス充実のための場所・物品・人の活用。			
	11 病床・診療科再編	A	<input type="checkbox"/> 休床病床の方向性の確定。			
	地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	在宅医療への貢献	不採算部門・特殊部門に関わる医療の提供	12 不採算・特殊部門	A	<input type="checkbox"/> 小児科常勤医師の確保。 <input type="checkbox"/> 災害拠点病院の指定要件見直しへの対応。
			13 地域包括ケア病棟	B	<input type="checkbox"/> ニーズがどれくらいあるのかの把握。	
			14 退院支援	A		
			15 訪問看護	A	<input type="checkbox"/> 「在宅看取りパンフレット」を地域へ広めることによる在宅看取りの推進。	
			住民の健康づくり強化	16 予防からケア	A	<input type="checkbox"/> 参加人数増加に向けての方策。
			17 保健教育	A		
			18 基準内繰入	A	<input type="checkbox"/> 適切な負担についての継続的な協議。	
	経営の効率化	経常収支比率に係る目標設定の考え方 目標達成に向けた具体的な取組	一般会計負担の考え方	19 基準外繰入	A	<input type="checkbox"/> 適切な負担についての継続的な協議。
20 経常収支黒字化				A		
目指すべき方針・目標等の設定・共有				21 情報共有(市・病院)	A	
				22 情報共有(院内)	B	<input type="checkbox"/> 診療局代表者会議における経営会議結果の報告。
				23 職員意識	B	<input type="checkbox"/> 業務上の支障発生防止のための「時間管理」についての意識の徹底。
				24 情報共有(データ分析)	C	<input type="checkbox"/> システム活用でできること(具体的事項)の院内周知。
医療従事者の確保・育成				25 医師確保	C	<input type="checkbox"/> 診療科ごとのポイントを踏まえての効果的なPR。
				26 看護師・医療技術員確保	B	<input type="checkbox"/> 認定看護師の育成(認定看護分野・人数の増加)。 <input type="checkbox"/> 看護助手の確保。
				27 医療従事者育成	A	
				28 意識改革	C	<input type="checkbox"/> 病院に合った人事考課制度(形・手法・評価等)の確立。
				29 手当	D	<input type="checkbox"/> 働き方改革を踏まえた手当制度の見直し。
収入増加・確保対策				収入増加・確保対策	30 患者数・診療単価	B
	31 病床稼働率	A				
	32 平均在院日数	B	<input type="checkbox"/> 退院予定患者の取りこぼし防止。(包括ケア病棟) <input type="checkbox"/> 方針転換。(緩和病棟)			
	33 手術	B	<input type="checkbox"/> 新改革プラン記述及び実行計画指標の見直し。			
	34 施設基準・診療報酬	A	<input type="checkbox"/> 診療報酬出来高算定の向上(算定漏れの防止)。			
	経費削減・抑制対策	35 給与費	B		<input type="checkbox"/> 新改革プラン記述の見直し。	
		36 薬品費	A			
37 診療材料費		A	<input type="checkbox"/> 新改革プラン記述の見直し。			
38 委託費		C	<input type="checkbox"/> 真に必要な業務のみの委託への転換。			
39 医療機器・医療情報システム	C	<input type="checkbox"/> 実績(部署別等)の把握、経営会議への報告。				
40 医療消耗品	B	<input type="checkbox"/> 情報を得る機会の拡大。 <input type="checkbox"/> コスト意識の高揚。				
予算編成	予算編成	41 予算作成	A			
		42 予算執行	A			
医療安全管理体制の充実	医療安全管理体制の充実	43 医療安全管理	B	<input type="checkbox"/> 多職種での事象に対する分析(IMSAFERなど)。 <input type="checkbox"/> 多部署の「セーフティマネージャー会議」の情報が「医療安全管理委員会」に報告される仕組み。		
		44				
再編・ネットワーク化	海部医療圏の他病院との連携 海部医療圏外の他病院との連携	45 病病連携(圏域内)	B			
		46 病病連携(圏域外)	B			
第4章	経営形態の見直し 点検・評価・公表等	新改革プランの改定	47 経営形態	A		
			48 実行計画	B	<input type="checkbox"/> 進捗状況が芳しくない取組事項への対応。	
			49 評価委員会	A		
			50 公表	A	<input type="checkbox"/> 公表にあたっての内容チェックの強化。	
			51 医療職の地域での活躍	A		
			52 プラン見直し	B		

※ 「評価」: A:達成・成果あり、B:概ね達成・概ね成果あり、C:やや未達成・やや成果不足、D:未達成・成果不足

※ 「活動実績」及び「考察」は、本冊参照。

集計 A:24件、B:20件、C:6件、D:1件 (計51件)